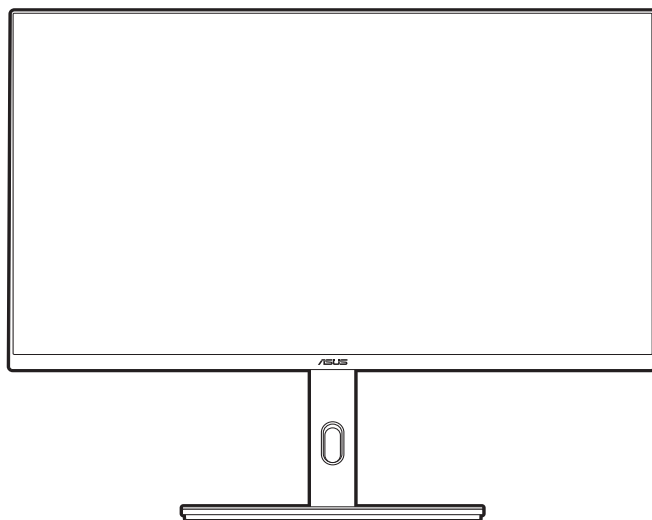


**ASUS®**

**PA32UCR シリーズ**

**LCD モニター**

# ユーザーガイド



**HDMI™**  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

第 1 版

2021 年 11 月

**Copyright © 2021 ASUSTeK COMPUTER INC. 版權所有。**

購入者がドキュメントをバックアップの目的に保管する場合を除き、本マニュアルの内容は、記載されている製品およびソフトウェアを含み、いかなる部分も、ASUSTeK COMPUTER INC.（「ASUS」）の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、複製、転送、転載、検索システムに保管、他の言語に翻訳することは禁じられています。

次の場合は製品保証またはサービスの対象外となります：(1) ASUS の書面による承認なく製品を修理、変更、改造した場合、または (2) 製品のシリアル番号が読めなかったり紛失した場合。

ASUS は本マニュアルを現状のまま配布し、商品性や特定目的への適合性を含む一切の明示的あるいは黙示的保証はいたしかねます。本マニュアルまたは製品の故障が原因による損害の可能性について ASUS が報告を受けていた場合を含み、いかなる場合も、ASUS、同社の取締役、執行役員、従業員、販売店は、損失、事業損失、使用やデータの損失、事業の中断などの損害を含む一切の間接損害、特別損害、付随的損害、派生的損害に対し、責任を負いかねます。

本マニュアルに記載されている仕様と情報は情報提供を目的としたものであり、予告なしに変更されることがあり、ASUS の責任とは見なされません。ASUS は、本マニュアルに記載された製品およびソフトウェアを含み、本マニュアルに記載された一切の間違いや不正確性について責任を負いかねます。

本マニュアルに記載された製品および会社名は、該当する会社の登録商標または著作権を有する場合があります。侵害することなく、指示および表示、所有者の利益にのみ使用します。

# 目次

目次 .....	iii
ご注意 .....	iv
安全情報 .....	vi
お手入れ方法 .....	vii
Takeback Services .....	viii
EU エネルギーラベルにかかる製品情報 .....	viii
<b>第 1 章：製品の説明</b>	
1.1 はじめに！ .....	1-1
1.2 同梱されているもの .....	1-1
1.3 各部の説明 .....	1-2
1.3.1 前面図 .....	1-2
1.3.2 後面図 .....	1-3
1.3.3 その他の機能 .....	1-4
<b>第 2 章：設定</b>	
2.1 アーム / ベースの取り付け .....	2-1
2.2 アーム / ベースを取り外す (VESA 規格壁取り付け用) .....	2-1
2.3 モニターを調整する .....	2-2
2.4 ケーブルを接続する .....	2-4
2.5 モニターの電源を入れる .....	2-5
<b>第 3 章：一般説明</b>	
3.1 OSD (スクリーン表示) メニュー .....	3-1
3.1.1 設定の仕方 .....	3-1
3.1.2 OSD 機能の説明 .....	3-2
3.2 仕様の要約 .....	3-13
3.3 アウトライン寸法 .....	3-15
3.4 トラブルシューティング (よくあるご質問) .....	3-16
3.5 サポートするオペレーティングモード .....	3-17

## ご注意

### 米国連邦通信委員会 (FCC) 宣言

本製品は、FCC 基準パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規定されます。

- 電波障害を起こさないこと、
- 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずるクラス B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成および使用し、また放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しない場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオン/オフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置を別の電源に接続してください。
- 販売店やラジオ / ビデオの専門技術者に問い合わせる。



---

FCC 規制への準拠を確実にするには、シールドされたケーブルを使ってモニターをグラフィックスカードに接続する必要があります。FCC 準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

---

## ENERGY STAR 準拠製品



ENERGY STAR は、省エネ効果の高い製品と実践を通じて経済的にも、環境保護的にも役に立つための米国環境保護庁および米国エネルギー省との合同プログラムです。

ENERGY STAR ロゴの付いた ASUS 製品は、ENERGY STAR 規格に準拠しており、電力管理機能がデフォルトで有効になっています。モニターとコンピュータは、10 分または 30 分間無作動状態が続くと、自動的にスリープモードに入るように設定されています。コンピュータを復帰させるには、マウスをクリックするかキーボードのキーをどれでも押してください。省エネや環境に与える影響についての詳細は、<http://www.energystar.gov/powermanagement> をお読みください。また、ENERGY STAR 合同プログラムについての詳細は、<http://www.energystar.gov> をお読みください。



注記：Energy Star は FreeDOS および Linux ベースのオペレーティングシステムには対応していません。

## カナダ通信省宣言

本デジタル機器は、カナダ通信省の電波障害規制に定められたデジタル機器の無線雑音放出に対するクラス B 制限に適合しています。

本クラス B デジタル機器はカナダ ICES-003 に準拠します。

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference - Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouiller du Canada.



## 安全情報

- モニターをセットアップする前に、同梱されている説明書をすべて熟読ください。
- 火災や感電を避けるために、モニターは雨や湿気にさらさないでください。
- モニターキャビネットは開けないでください。モニター内の高電圧で大怪我をする危険があります。
- 電源の故障はご自分で修理しないでください。資格のあるサービス担当技師または小売店までご相談ください。
- 製品を使用する前に、すべてのケーブルが正しく接続されていること、および電源ケーブルに破損がないことを確認します。破損がある場合は直ちに販売店までご連絡ください。
- キャビネットの背面や上部のスロットや開口部は通気用です。スロットは塞がないでください。正しく換気されている場合を除き、本製品を暖房器具やその他の熱を発生するもののそばに置かないでください。
- モニターはラベルに表示されている電源タイプでのみご使用ください。ご自宅に供給されている電源タイプが分からない場合は、販売店または地域の電力会社までお問い合わせください。
- お住まいの地域の電源規格に適合する電源プラグをお使いください。
- 電源ストリップや延長コードに負荷を掛け過ぎないようにします。過負荷は火災や感電の原因になることがあります。
- 埃、湿度、高温は避けてください。モニターは濡れる可能性がある場所には置かないでください。モニターは安定した場所に設置します。
- 雷や長期間使用しない場合は、ユニットの電源を抜きます。これにより電力サージによる破損を防ぎます。
- モニターキャビネットのスロットに固形物や液体を入れないでください。
- モニターが正しく動作するように、100 ~ 240V AC 間の正しく設定されたコンセントの付いた UL 規格のコンピュータでのみ使用してください。
- モニターに技術的な問題が発生した場合は、資格のある技師または小売店までご相談ください。
- 音量調整やイコライザーを中心設定からずらすと、イヤフォン/ヘッドフォンの出力電圧が上がるため、音圧レベルも上がります。



X 印の付いたごみ箱の記号は、製品（電気・電子機器、水銀を含むボタン式バッテリー）を家庭ごみと一緒に廃棄してはいけないことを示しています。電気製品の廃棄については、地方自治体の規制を確認してください。

## お手入れ方法

- モニターを持ち上げたり位置を変えたりする前に、ケーブルと電源コードを取り外すことをお勧めします。モニターを配置する際は、正しい手順で持ち上げます。モニターを持ち上げたり運ぶ際には、モニターの端をつかみます。スタンドやコードを持ってディスプレイを持ち上げないでください。
- お手入れ。モニターの電源を切って電源コードを取り外します。モニターの表面は、リントフリーで研磨剤を付けてない布を使って拭いてください。頑固な汚れは、マイルドなクリーナーで湿らせた布で取り除いてください。
- アルコールやアセトンを含むクリーナーは使用しないでください。液晶画面用のクリーナーをお使いください。クリーナーを直接画面にスプレーしないでください。モニターの内部に液体が入り、感電の原因になることがあります。

### 次のような症状はモニターの故障ではありません：

- ご使用のデスクトップの模様により、画面の明るさがわずかに不均一に見える場合があります。
- 同じ画面を数時間表示した後で画像を切り替えると、前の画面の残像が残ることがあります。画面はゆっくりと回復します。または、電源スイッチを数時間切ってください。
- 画面が黒くなったたり点滅する場合や動作しない場合は、販売店またはサービスセンターで修理してください。画面はご自分で修理しないでください。

### 本ガイドで使用する記号の意味



警告：怪我を防止するための情報です。



注意：コンポーネントの破損を防止するための情報です。



重要：遵守しなければならない情報です。



注記：アドバイスと追加情報です。

## 詳細情報について

製品とソフトウェアの最新情報については下記をご覧ください。

### 1. ASUS Web サイト

ASUS Web サイトでは、ASUS ハードウェアおよびソフトウェア製品について世界中に最新情報を提供しております。<http://www.asus.com> を参照してください。

### 2. その他のドキュメント

製品には、販売店が添付したドキュメントが同梱されていることがあります。そのようなドキュメントは標準パッケージには含まれていません。

## Takeback Services

ASUS recycling and takeback programs come from our commitment to the highest standards for protecting our environment. We believe in providing solutions for our customers to be able to responsibly recycle our products, batteries and other components as well as the packaging materials.

Please go to <http://csr.asus.com/english/Takeback.htm> for detail recycling information in different region.

## EU エネルギーラベルにかかる製品情報



PA32UCR



PA32UCR-K







## 1.1 はじめに！

ASUS® 液晶モニターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ASUS の最新のワイドスクリーン液晶モニターは、大視野角のクリアで鮮明な画面とさまざまな機能で、より一層見やすくなりました。

これらの各種機能で、便利で快適なビジュアル体験を心ゆくまでお楽しみください。

## 1.2 同梱されているもの

パッケージに次の項目が揃っていることを確認してください。

- ✓ 液晶モニター
- ✓ モニターの台
- ✓ クイックスタートガイド
- ✓ 保証書カード
- ✓ 電源コード
- ✓ HDMI ケーブル（別売り）
- ✓ USB Type C ケーブル
- ✓ DisplayPort ケーブル（別売り）
- ✓ カラー校正テストレポート
- ✓ 入力ポートカバー
- ✓ ProArt ウェルカムカード
- ✓ カラーキャリブレーション（PA32UCR-K のみ）



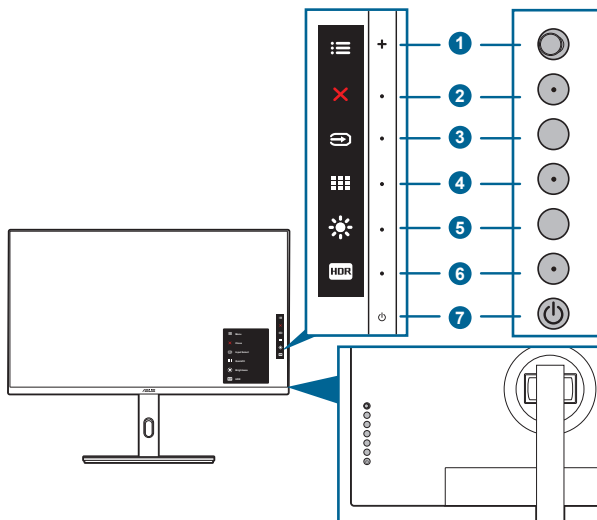
---




破損しているものや入っていないものがある場合は、直ちに小売店までご連絡ください。

---


## 1.3 各部の説明



### 1.3.1 前面図





1.  メニュー（5方向）ボタン：
  - このボタンを押すと、OSDメニューが開きます。
  - 選択した OSD メニュー項目を実行します。
  - 値を増減したり、選択を上/下/左/右に移動します。
2.  閉じるボタン：
  - OSDメニューを終了します。
  - 5秒間長押しすると、キーのロック機能のオンとオフが切り替わります。
3.  入力選択ボタン：
  - 使用可能な入力ソースを選択します。



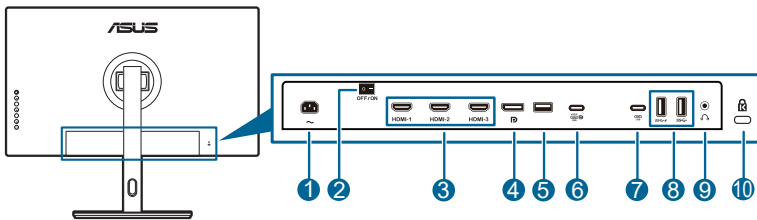
HDMI/DisplayPort/USB Type-C ケーブルをモニターに接続した後、 ボタン（入力選択ボタン）を押すと HDMI-1、HDMI-2、HDMI-3、DisplayPort または USB Type C 信号を表示できます。

4.  QuickFit Plus ボタン：
  - これは QuickFit Plus メニューを開くためのホットキーです。
5.  ショートカット **1**
  - デフォルト：明るさホットキー

- ホットキーの機能を変更するには、ショートカット > ショートカット 1 メニューに移動します。
6.  ショートカット **2**
- デフォルト：HDR ホットキー
  - ホットキーの機能を変更するには、ショートカット > ショートカット 2 メニューに移動します。
7.  電源ボタン/電源インジケータ
- モニターの電源をオン/オフにします。
  - 電源インジケータの色定義は次の表のとおりです。

ステータス	説明
白	オン
橙色	スタンバイモード
オフ	オフ

### 1.3.2 後面図



1. **AC 入力ポート。** このポートは電源コードを接続します。



重要：本製品付属のACアダプターおよび／または電源コード以外で本機に電力を供給しないでください。  
 付属のACアダプターおよび／または電源コードを他の製品に使用しないでください。故障・事故の原因となります。

2. **電源スイッチ。** スイッチを押して電源のオン / オフを切り替えます。
3. **HDMI ポート。** これらのポートは HDMI 互換機との接続用です。
4. **DisplayPort イン。** このポートは DisplayPort 互換デバイスに接続するためのものです。



OSD メニューの DisplayPort ストリームのデフォルト設定は、DisplayPort 1.2 です。ご使用になるデバイスの出力信号が DisplayPort 1.1 の場合は、DisplayPort 1.1 に変更することができます。

5. **USB 2.0 Type A。** このポートはサービス用です。

6. **USB 3.2 Gen1 Type-C** (DP Alt モードに対応)。DisplayPort/USB Type-C 対応デバイスと接続します。USB 電源とデータ配信に対応する USB Type-C ケーブルも接続できます。



---

このモニターは、Super-Speed USB 3.2 Gen1 互換です (5Gbps)。このポートは電圧 5V/3A、9V/3A、12V/3A、15V/3A、20V/4A で最大 80W を供給します。

---

7. **USB 3.2 Gen1 Type-C**。USB Type-C デバイスと接続します。この接続は USB 電源とデータ配信に対応しています。



---


このモニターは、Super-Speed USB 3.2 Gen1 互換です (5Gbps)。

---

8. **USB 3.2 Gen1 Type A**：これらのポートは USB キーボード/マウス、USB フラッシュドライブなどの、USB デバイスに接続するためのものです。



---

 アイコンが付いたポートは BC1.2 対応 (5V/1.5A) です。

---

9. イヤフォンジャック。  
10. ケンジントンロックスロット。

### 1.3.3 その他の機能

#### 1. HDR

本製品は HDR フォーマットに対応します。HDR コンテンツが検出されると「HDR オン」というメッセージが表示され、情報ページが開きます。



---

PIP/PBP モードがオンのときには、HDR コンテンツには対応しません。

---



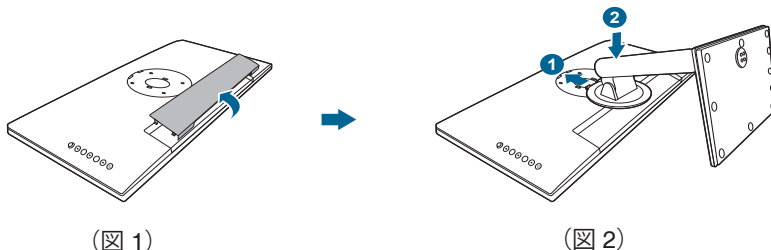




## 2.1 アーム / ベースの取り付け

モニターのベースを組み立てるには、以下の手順に従います。

1. モニター面の正面を下にしてテーブルの上に置きます。
2. 入力ポートカバーを取り外します (図 1)。
3. アームのつまみがベースの凹みにしっかりと収まるように、ベースをアームに取り付けます (図 2)。



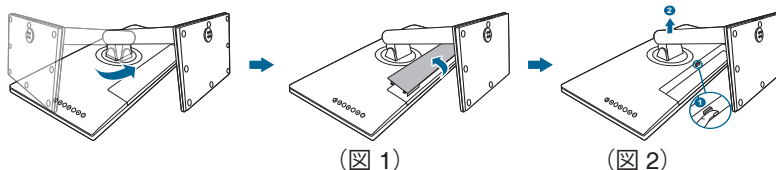
モニターの破損を防ぐために、柔らかい布を掛けたテーブルの上に置くことをお勧めします。

## 2.2 アーム / ベースを取り外す (VESA 規格壁取り付け用)

本モニターの取り外し可能アーム/ベースは、VESA 規格壁取り付け用に特別に設計されています。

アーム/ベースの取り外し：

1. モニター面の正面を下にしてテーブルの上に置きます。
2. 入力ポートカバーを取り外します (図 1)。
3. 取り外しボタンを押して、アーム/ベースをモニターから取り外します (図 2)。



モニターの破損を防ぐために、柔らかい布を掛けたテーブルの上に置くことをお勧めします。

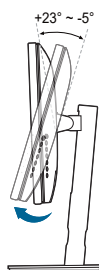


- VESA 壁取り付けキット (100 x 100 mm) は別売です。
- 22.7kg 以上の重量 / 荷重を持つ UL 指定の壁取り付けブラケットのみを使用してください (ねじ寸法: M4 x 10 mm)。

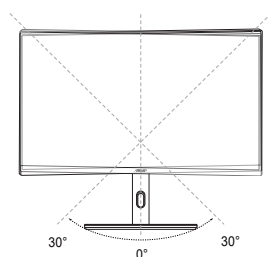
## 2.3 モニターを調整する

- 最適な表示のために、モニターの正面を見てから、最も見やすくなるようにモニターの角度を調整することをお勧めします。
- 角度を変えるときにはスタンドを持ち、モニターが落ちないように保護してください。
- モニターの角度を  $+23^{\circ} \sim -5^{\circ}$  の間で調整し、左右どちらからでも  $30^{\circ}$  のスイベル調整が可能です。モニターの高さを  $\pm 130 \text{ mm}$  の範囲内で調整することもできます。

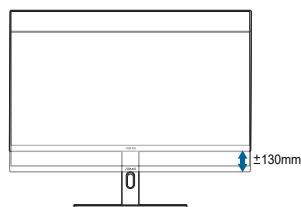
(チルト)



(回転)

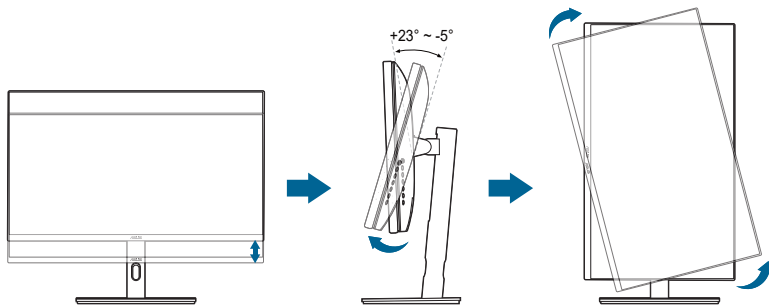


(高さ調整)



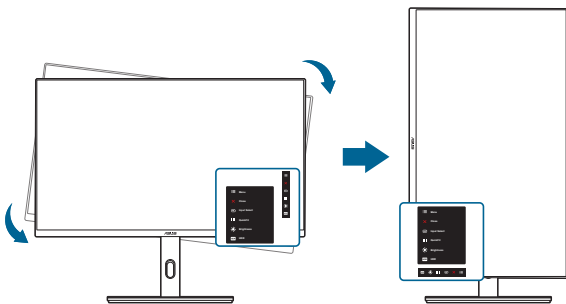
## モニターを旋回する

1. モニターをもっとも高い位置まで持ち上げます。
2. モニターをその最高の角度まで傾けます。
3. モニターを必要な角度に回転させます。



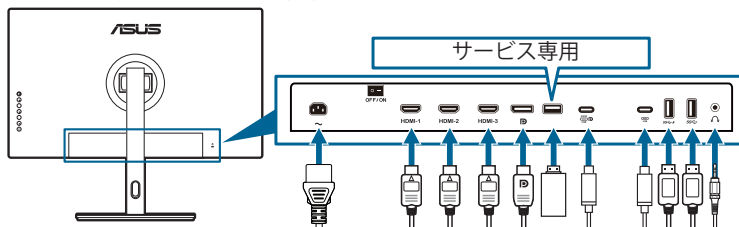
視野角を変更する際にはモニターが多少揺れますが、これは通常の動作です。

4. モニターが回転すると、OSDメニュー項目も自動的に回転します。



## 2.4 ケーブルを接続する

1. 次の指示に従ってケーブルを接続します。



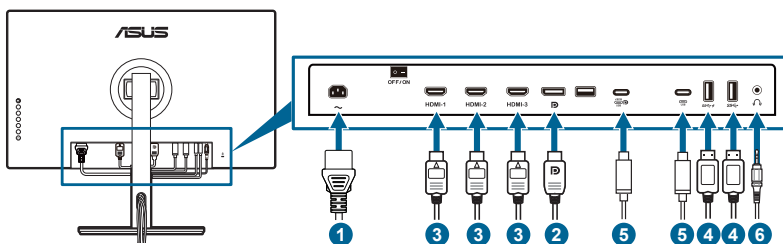
- **電源コードの接続：**電源コードの一方の端をモニターの AC 入力ポートにしっかりと接続し、もう一方の端を電源コンセントに接続します。
- **HDMI/DisplayPort/USB Type-C ケーブルを接続する：**
  - a. HDMI/DisplayPort ケーブルの一方の端をモニターの HDMI/DisplayPort/USB Type-C ジャックに差し込みます。
  - b. HDMI/DisplayPort/USB Type-C ケーブルのもう一方の端をデバイスの HDMI/DisplayPort/USB Type-C ジャックに差し込みます。
- **イヤフォンを使う：**HDMI/DisplayPort/USB Type-C 信号を入力する場合は、プラグタイプの端子をモニターのイヤフォン ジャックに挿入します。
- **USB 3.2 Gen1 ポートを使う：**
  - » アップストリーム：付属の USB 3.2 Gen1 Type-C ケーブルをモニターの USB アップストリームポートに接続し、もう片端をコンピュータの USB 3.2 Gen1 ポートに接続します。コンピュータに最新の Windows 7/Windows 10/Windows 11 オペレーティングシステムがインストールされているか確認してください。これにより、モニターの USB ポートを使用できるようになります。
  - » ダウンストリーム：デバイスの USB Type A/Type-C ケーブルをモニターの USB Type A/Type-C ジャックに接続します。



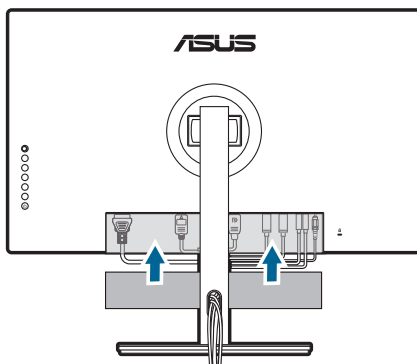
これらのケーブルを接続するとき、OSD メニューの入力選択項目から希望の信号を選択することができます。

## 2. ケーブルの整理



スタンドのケーブル管理スロットにケーブルを通すには、次の手順に従ってください。



3. 必要であれば、出入口ポートカバーを取り付けてください。



## 2.5 モニターの電源を入れる

電源ボタン  を押します。電源ボタンの位置については 1-2 ページを参照してください。電源インジケータ  が白く点灯し、モニターの電源が入ります。



## 3.1 OSD（スクリーン表示）メニュー

### 3.1.1 設定の仕方



1. **☰**メニュー（5方向）ボタンを押して、OSDメニューをアクティブにします。
2. **☰**メニュー（5方向）ボタンを上下左右に移動して、機能をナビゲートします。目的の機能をハイライトして**☰**メニュー（5方向）ボタンを押してアクティブにします。選択した機能にサブメニューがある場合、**☰**メニュー（5方向）ボタンを上下に移動してサブメニュー機能をナビゲートします。目的のサブメニュー機能をハイライトして**☰**メニュー（5方向）ボタンを押すか**☰**メニュー（5方向）ボタンを移動してアクティブにします。
3. **☰**メニュー（5方向）ボタンを上下に移動して、目的の機能の設定を変更します。
4. OSDメニューを保存して終了するには、**✕**ボタンを押すか OSDメニューが消えるまで**☰**メニュー（5方向）ボタンを左に繰り返し移動します。他の機能を調整するには、ステップ1～3を繰り返します。

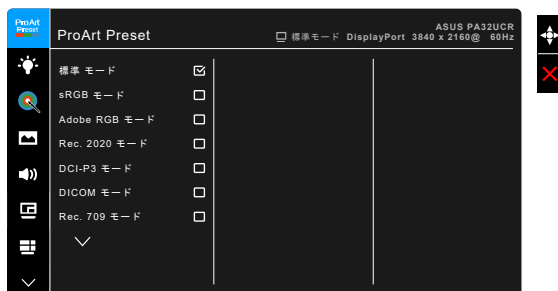
## 3.1.2 OSD 機能の説明

### 1. ProArt Preset

この機能には 13 つのサブ機能があり、お好みに合わせて選択いただけます。各モードにはリセット選択があり、設定を維持したり、プリセットモードに戻ることができるようになっています。



この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。環境効果をオフにして、デバイスの HDR を無効にします。



- **標準モード**：ドキュメントに最適です。
- **sRGB モード**：sRGB カラースペースと互換があり、sRGB モードは、ドキュメント編集に最適な方法です。
- **Adobe RGB モード**：Adobe RGB カラースペースと互換があります。
- **Rec.2020 モード**：Rec.2020 カラースペースと互換性があります。
- **DCI-P3 モード**：DCI-P3 カラースペースと互換があります。
- **DICOM モード**：DICOM 規格に準拠しており、医療用画像の確認に最適です。
- **Rec.709 モード**：Rec. 709 カラースペースと互換性があります。
- **HDR\_PQ DCI**：DCI-P3 色域と D65 ホワイトポイントを実現する ST2084。
  - \* PQ Optimized：ディスプレイのルミネンス性能において、ST2084 に限りなく忠実に、本機の最適な HDR 性能を実現します。
  - \* PQ Clip：最大輝度で正確に表示されるまで PQ 曲線を維持します。ディスプレイの最高値を超える ST2084 コード値は、最大ルミネンスにマップされます。最大 300 ニトもご使用いただけます。
  - \* PQ Basic：一般的な HDR 対応ディスプレイの HDR 性能です。
- **HDR\_PQ Rec2020**：Rec.2020 色域と D65 ホワイトポイントを実現する ST2084。



- \* PQ Optimized：ディスプレイのルミナンス性能において、ST2084 に限りなく忠実に、本機の最適な HDR 性能を実現します。
  - \* PQ Clip：最大輝度で正確に表示されるまで PQ 曲線を維持します。ディスプレイの最高値を超える ST2084 コード値は、最大ルミナンスにマップされます。最大 300 ニトもご使用いただけます。
  - \* PQ Basic：一般的な HDR 対応ディスプレイの HDR 性能です。
- **HDR\_HLG BT2100**：BT2100 に準拠しています。
  - **HDR\_HLG DCI**：DCI-P3 に準拠します。
  - **ユーザーモード 1/ユーザーモード 2**：詳細設定で色を調整できます。ProArt キャリブレーションを実行した後、1 個または 2 個の ProArt キャリブレーションプロファイルをユーザー モード 1/ユーザー モード 2 として保存すると、ここにすばやくアクセスできるようになります。



ProArt カラーキャリブレーションを行うときには、次の設定を行ってください。

- 出力ダイナミックをフル範囲に設定します。
- 出力カラーフォーマットを RGB に設定します。
- 出力カラー深度を 8 ビットに設定します。

次の表は、各 ProArt Preset モードの既定値をまとめたものです。

機能	標準モード	sRGB モード	Adobe RGB モード	Rec.709 モード
カラー	6500K	固定 6500K	固定 6500K	6500K
明るさ	50	固定 80 ニト	160 ニト	100 ニト
コントラスト	80	80	80	80
鮮明度	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)
彩度	中 (50)	無効	中 (50)	中 (50)
色相	中 (50)	無効	中 (50)	中 (50)
ProArt Palette/ カラー	有効 (デフォルト)	無効	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)
黒レベル	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)
ガンマ	有効 (2.2)	固定 2.2	固定 2.2	有効 2.4
ムラ補正	有効 (オフ)	有効 (オフ)	有効 (オフ)	有効 (オフ)
入力範囲	有効 (自動)	有効 (自動)	有効 (自動)	有効 (自動)

機能	DCI-P3 モード	Rec.2020 モード	DICOM モード	HDR_PQ DCI モード
カラー	P3-Theater	6500K	6500K	固定 (6500K)
明るさ	48 ニト	100 ニト	50	300 ニト /600 ニト / 1000 ニト /最大
コントラスト	80	80	80	無効
鮮明度	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)
彩度	中 (50)	中 (50)	中 (50)	無効
色相	中 (50)	中 (50)	中 (50)	無効
ProArt Palette/ カラー	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (RGB ゲイン)
黒レベル	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)
ガンマ	有効 (2.2/2.6 のみ)	有効 (2.4)	固定 2.2	無効
ムラ補正	有効 (オフ)	有効 (オフ)	有効 (オフ)	無効
入力範囲	有効 (自動)	有効 (自動)	有効 (自動)	有効 (自動)

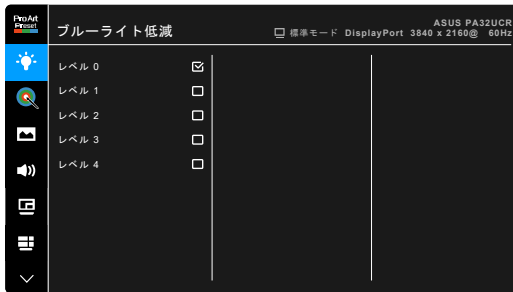
機能	HDR_PQ Rec2020 モード	HDR_HLG BT2100 モード	HDR_HLG DCI モード	ユーザーモード 1/ ユーザーモード 2
カラー	固定 (6500K)	固定 6500K	固定 6500K	6500K
明るさ	300 ニト /600 ニト / 1000 ニト /最大	100	100	50
コントラスト	無効	無効	無効	80
鮮明度	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)	有効 (0)
彩度	無効	無効	無効	中 (50)
色相	無効	無効	無効	中 (50)
ProArt Palette/ カラー	有効 (RGB ゲイン)	有効 (RGB ゲイン)	有効 (RGB ゲイン)	無効
黒レベル	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)	有効 (デフォルト)
ガンマ	無効	無効	無効	固定 2.2
ムラ補正	無効	無効	無効	固定 オフ
入力範囲	有効 (自動)	有効 (自動)	有効 (自動)	有効 (自動)

## 2. ブルーライト低減

この機能では、ブルーライト低減レベルを調整できます。



この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。環境効果をオフにして、デバイスの HDR を無効にします。



- **レベル 0**：変更なし。
- **レベル 1~4**：レベルが高くなるほど、ブルーライトの量が少なくなります。ブルーライト低減を有効にすると、標準モードのデフォルト設定が自動的に向上されます。レベル 1 からレベル 3 の間では、ユーザーが調整できる機能は明るさです。レベル 4 は最適化された設定です。TUV 低ブルーライト認証に準拠しています。明るさはユーザーが調整することはできません。



目の疲れを軽減するためには、次のアドバイスを参考にしてください。

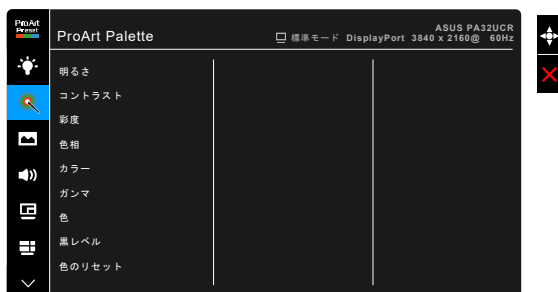
- 長時間コンピュータの前に座っている場合は、時々休憩を入れてください。コンピュータを 1 時間連続操作した後は、短い休憩（5 分以上）を取ってください。1 回長い休憩を取るよりも、何度も短い休憩を取る方が効果的です。
- 目の疲れやドライアイを防止するには、定期的に遠くにある物を見つめて目を休めてください。
- 目の体操をすると、目の疲れを軽減できます。次に紹介する体操を時々行ってください。目の疲れがとれないときには、病院を受診してください。目の体操：(1) 目を上下に動かす (2) 目をゆっくりと回す (3) 目を対角状に動かす。
- 強いブルーライトは目の疲れや AMD（加齢性黄斑変性症）を誘発します。ブルーライト低減をご使用になると、70%（最大）のブルーライトを削減して CVS（コンピュータ視覚症候群）を防止することができます。

### 3. ProArt Palette

このメニューから希望のカラー設定を設定します。



この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。環境効果をオフにして、デバイスの HDR を無効にします。



- **明るさ**：調整範囲は 0 ~ 100 です。
- **コントラスト**：調整範囲は 0 ~ 100 です。
- **彩度**：調整範囲は 0 ~ 100 です。
- **色相**：緑と紫の間で画像の色をシフトします。
- **カラー**：9300K、6500K、5500K、5000K および P3-Theater の 5 つのモードがあります。



P3-Theater は DCI-P3 モードが選択されている場合に限り有効です。

- **ガンマ**：カラーモードを 2.6、2.4、2.2、2.0、1.8 に設定します。
- **色**：
  - \* 6 軸色相調整。
  - \* 6 軸彩度調整。
  - \* 赤、緑、青 のゲインレベルを調整します。
  - \* 赤、緑、青 の黒レベルオフセット値を調整します。
- **黒レベル**：ディスプレイで最も暗いレベルです。
  - \* 信号：最も暗いグレイレベルの第一信号レベルを調整します。
  - \* バックライト：バックライトの暗さを調整します。
- **色のリセット**：
  - \* リセットされた現在のカラーモード：  
現在のカラーモードを工場出荷時の初期値設定にリセットします。

- \* リセットされたすべてのモードカラー：  
すべてのカラーモードを工場出荷時の初期値設定にリセットします。

#### 4. 画像

このメニューから画像関連の設定を設定します。



- **鮮明度**：調整範囲は 0 ~ 100 です。
- **Trace Free**：モニターの応答時間を調整します。



この機能を有効にするには、次の手順にしがってください。PBP をオフにして、デバイスの HDR を無効にします。

- **アスペクトコントロール**：アスペクト比をフル画面、4:3、1:1、または OverScan に調整します。



- この機能を有効にするには、次の手順にしがってください。PBP をオフにします。
- 4:3 は入力ソースが 4:3 形式のときのみ使用できます。OverScan は HDMI 入力ソースでのみ使用できます。

- **ムラ補正**：画面の均一化エラーを軽減するためにスクリーンの異なるエリアを調整すると、スクリーン全体で均等な明るさや色になります。



この機能を有効にするには、次の手順にしがってください。ダイナミック調光をオフにして、デバイスの HDR を無効にします。

- **入力範囲**：ディスプレイの黒から白までの全表示範囲をマップします。
- **モーション同期**：高リフレッシュレートの性能をシミュレートして、別のバックライト周波数を生成します。



この機能を有効にするには、次の手順にしがってください。環境効果をオフにします。

## 5. サウンド

このメニューからボリューム、ミュート、音声入力を調整できます。



- **ボリューム**：調整範囲は 0 ~ 100 です。
- **ミュート**：モニターのサウンドのオンとオフを交互に切り替えます。
- **音声入力**：モニターのサウンドソースを決定します。

## 6. PIP/PBP 設定

PIP/PBP 設定は本来の映像信号のメインウィンドウとは別に、他の映像信号から別のサブウィンドウを開きます。この機能を有効にすると、モニターには異なるビデオソースから最大で 4 つの画像が表示されます（入力ソースが 4K@60Hz 以下のとき）。



この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。ダイナミック調光をオフにして、Adaptive-Sync を無効にして、デバイスの HDR を無効にします。



- **PIP/PBP モード**：PIP、PBP、PBP x 3 または PBP x 4 機能を選択するか、オフにします。

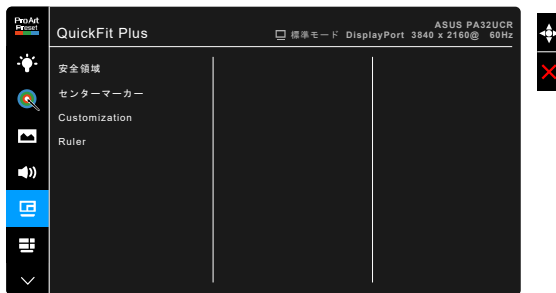
- **PIP/PBP ソース**：HDMI-1、HDMI-2、HDMI-3、DisplayPort、USB Type C からビデオ入力ソースを選択します。下の表は入力源の組み合わせを示したものです。

		メインウィンドウ				
		HDMI-1	HDMI-2	HDMI-3	DisplayPort	USB Type-C
サブウィンドウ	HDMI-1	あり	あり	あり	あり	あり
	HDMI-2	あり	あり	あり	あり	あり
	HDMI-3	あり	あり	あり	あり	あり
	DisplayPort	あり	あり	あり	あり	あり
	USB Type-C	あり	あり	あり	あり	あり

- **色設定**：選択した PBP ソースに対して、それぞれ Splendid モードを選択してください。（最大 2 つの Splendid モードを選択できます）
- **PIP サイズ**：PIP サイズを小さい、中、大きいに調整します。（PIP モードでのみ使用できます）

## 7. QuickFit Plus

別の種類の配置パターンを使用できます。



- **安全領域**：デザイナーおよびユーザーは、ページ上でコンテンツやレイアウトを構成し、見た目に統一感を持たせることができます。選択肢：1:1、操作安全、タイトルセーフ、3x3。
- **センターマーカー**：タイプ 1、タイプ 2、タイプ 3 を調整します。
- **Customization**：フレームサイズは ≡ メニュー（5 方向）ボタンを上/下/左/右に動かして決定します。≡ メニュー（5 方向）ボタンを 3 秒以上押しすと、単位をミリからインチに変更できます。
- **Ruler**：このパターンには上および左に実際のルーラーが表示されます。≡ メニュー（5 方向）ボタンを 3 秒以上押しすと、単位をメートル法から帝国単位に変更できます。

## 8. 入力選択

入力ソースを選択できます。



## 9. システム

システムの調整ができます。



- **HDR プレビュー**：非 HDR コンテンツの映像を HDR10 および HLG マッピング形式でプレビューできます。HDR プレビュー機能がオンのとき、HDR\_PQ DCI、HDR\_PQ Rec2020、HDR\_HLG BT2100、HDR\_HLG DCI を選択できます。
- **ダイナミック調光**：バックライトのダイナミック調光を実行するためにコントラストを変更するとき、コンテンツを同期します。同期速度を「高速」、「中」、「ゆっくり」に調整できます。



この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。PBP をオフにします。

### • 省エネ：

- \* 「標準レベル」では、モニターが省エネモードに入っても USB ダウンストリームポート/USB Type-C ポートで外付けデバイスに充電できます。



- \* 「ディープレベル」ではモニターが省エネモードに入ったときには、USB Type-C および USB 信号を自動的に検出し、どのようなポートでも外付け機器に充電することはできません。
- **メニュー設定：**
  - \* メニュー タイムアウトを 10 ~ 120 秒の範囲で調整します。
  - \* DDC/CI 機能の有効/無効を切り替えます。
  - \* OSD の背景を不透明から透明まで調整します。
  - \* OSD を回転します。
- **言語：**英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、ポルトガル語、ロシア語、チェコ語、クロアチア語、ポーランド語、ルーマニア語、ハンガリー語、トルコ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語、タイ語、インドネシア語、ベルシャ語の 21 の言語から選択できます。
- **調整リマインダー：**忠実に画像を再現できるように、ユーザーに本製品をキャリブレーションするよう知らせます。3 つのアラーム (300/600/1000 時間) と、オフがあります。



---

ユーザーモード 1 またはユーザーモード 2 を選択すると、この機能が有効になります。

---

- **DisplayPort ストリーム：**グラフィックカードとの互換性。グラフィックカードの DP バージョンに応じて DisplayPort 1.1 か DisplayPort 1.2 を選択します。



---

DisplayPort 1.1 は Adaptive-Sync がオフのときにしかご使用いただけません。

---

- **キーのロック：**すべての機能キーを無効にします。上から 2 番目のボタンを 5 秒以上押してキーロック機能をキャンセルします。
- **電源インジケータ：**電源 LED インジケータのオン/オフを切り替えます。
- **環境効果：**ディスプレイの輝度と環境照明の変化を同期させます。



---

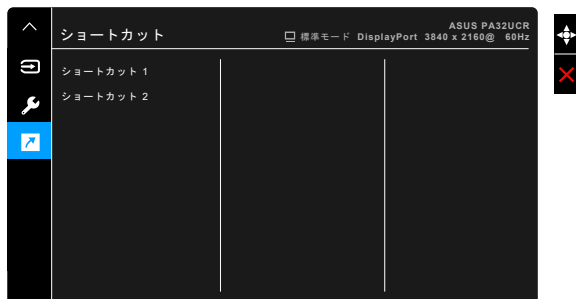
この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。デバイスの HDR を無効にして、モーション同期をオフにした後、ブルーライト低減をレベル 0 に設定します。

---

- **情報：**モニター情報を表示します。
- **すべてのリセット：**「はい」でデフォルト設定を復元できます。

## 10. ショートカット

ショートカット 1 ボタンとショートカット 2 ボタンの機能を定義します。



- **ショートカット 1/ショートカット 2**: ショートカット 1 ボタンとショートカット 2 ボタンの機能を選択します。



特定の機能が選択されたりアクティブになっているとき、ショートカットキーがサポートされないことがあります。ショートカットの使用可能な選択: ブルーライト低減、明るさ、HDR、コントラスト、PIP/PBP 設定、カラー、ボリューム、モーション同期、ユーザーモード 1、ユーザーモード 2。

## 3.2 仕様の要約

パネルタイプ	TFT LCD
パネルサイズ	32.0" (16:9、81.28 cm) ワイド画面
最大解像度	3840 x 2160
ピクセルピッチ	0.1845 mm
明るさ	400 cd/m <sup>2</sup> (標準)、1000 cd/m <sup>2</sup> (最大)
コントラスト比 (標準)	1,000:1
コントラスト比 (最大)	100,000,000:1 (ダイナミック調光オン)
表示角度 (H/V) CR>10	178°/178°
画面の色数	10.7 億
色域	DCI-P3 : 98% / Rec2020 : 87%
応答時間	5 ms (グレイからグレイ)
ProArt Preset 選択肢	13 つのビデオプリセットモード
カラーの選択	5 つのカラー
デジタル入力	HDMI v2.0b、DisplayPort v1.2、USB Type-C
イヤフォンジャック	あり
USB 3.2 Gen1 ポート	ダウンストリーム x 3 (USB Type-C x 1、USB Type-A x 2)
色	黒
電源 LED	白 (オン) / 橙色 (スタンバイ)
チルト	+23° ~ -5°
回転	+30° ~ -30°
ピボット	+90°、-90°
高さ調整	130 mm
ケンジントンロック	あり
AC 入力電圧	AC : 100 ~ 240 V
消費電力	電源オン : < 46 W** (標準)、スタンバイ : < 0.5 W (標準)、電源オフ : 0 W (スイッチオフ)
温度 (動作時)	0°C ~ 40°C
温度 (非動作時)	-20°C ~ +60°C
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	726.88 x 604.15 x 245.0 mm (スタンド含む、最高) 726.88 x 474.15 x 245.0 mm (スタンド含む、最低) 726.88 x 425.87 x 68.68 mm (スタンド含まず) 913 x 365 x 521 mm (パッケージ)
重量 (おおよそ)	7.7 kg (スタンド含まず)、12.3 kg (純量)、 17.7 kg (総量)
多言語	21 の言語 (英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、ポルトガル語、ロシア語、チェコ語、クロアチア語、ポーランド語、ルーマニア語、ハンガリー語、トルコ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語、タイ語、インドネシア語、ベルシャ語)

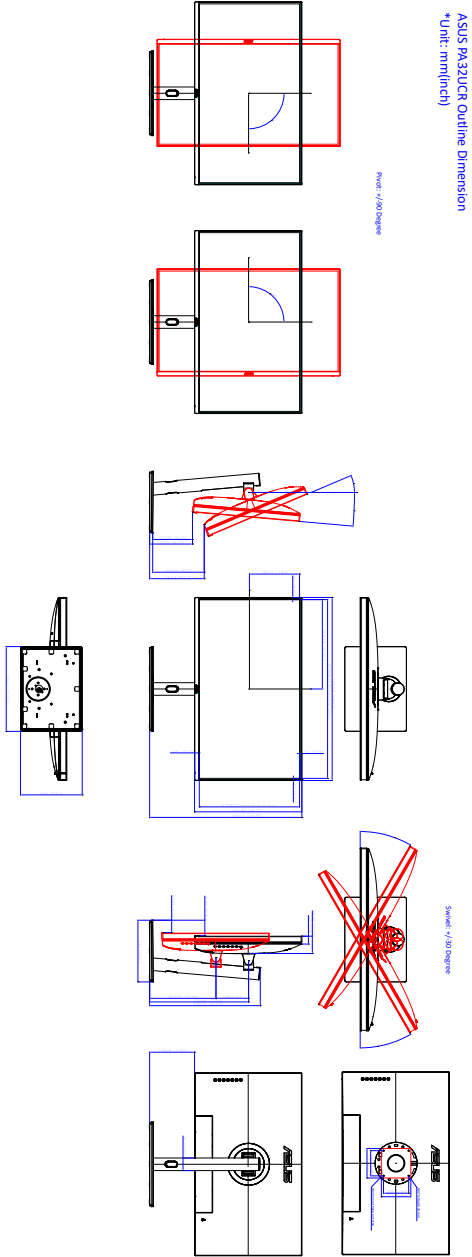
付属品	クイックスタートガイド、保証書カード、電源コード、HDMI ケーブル（別売り）、USB Type-C ケーブル、DisplayPort ケーブル（別売り）、カラー校正テストレポート、出入力ポートカバー、ProArt ウェルカムカード、カラーキャリブレーター（PA32UCR-Kのみ）
法令準拠と規格	cTUVus、CB、CE、FCC、CCC、BSMI、CU、VCCI、J-MOSS、RoHS、WEEE、PSE、KCC、ICES-3、ErP、CEL、ISO 9241-307、UkrSEPRO、RCM、PC Recycle、KC、e-Standby、TUV Flicker Free、TUV Low Blue Light、PSB、CEC、MEPS、Energy Star、USB IF、Windows 7、10 & 11 WHQL、Mac Compliance***

\*仕様は事前の通知なしに変更することがあります。

\*\*オーディオ/USB/カードリーダーを接続せずに、200 ニトのスクリーン輝度を測定しました。

\*\*\*Mac OS 10.13.6、10.14.1 が必要です。

### 3.3 アウトライン寸法



### 3.4 トラブルシューティング（よくあるご質問）

トラブル	対応策
電源 LED がオンにならない	<ul style="list-style-type: none"><li>⓪ ボタンを押してモニターがオンモードであることを確認します。</li><li>電源コードがモニターとコンセントに正しく接続されていることを確認します。</li><li>電源スイッチがオンになっているかどうかをチェックします。</li></ul>
電源 LED が橙色に点灯し画面画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>モニターとコンピュータがオンモードであることを確認します。</li><li>信号ケーブルがモニターとコンピュータに正しく接続されていることを確認します。</li><li>信号ケーブルのピンが曲がっていないかどうか点検します。</li><li>コンピュータを他のモニターと接続して、コンピュータが正しく動作することを確認します。</li></ul>
画面画像が明るすぎる/暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"><li>OSD でコントラストと明るさの設定を調整します。</li></ul>
画面画像が跳ねたり、画像に波模様が入る	<ul style="list-style-type: none"><li>信号ケーブルがモニターとコンピュータに正しく接続されていることを確認します。</li><li>電気障害を起こす可能性のある電気デバイスを遠ざけます。</li></ul>
画面画像の色に異常がある（白が白に見えない）	<ul style="list-style-type: none"><li>信号ケーブルのピンが曲がっていないかどうか点検します。</li><li>OSD ですべてのリセットを実行します。</li><li>OSD で赤/ 緑/青の色設定を調整するかカラーを選択します。</li></ul>
音が出ない/音声が低い	<ul style="list-style-type: none"><li>HDMI/DisplayPort/Thunderbolt ケーブルがモニターとコンピュータに正しく接続されていることを確認します。</li><li>モニターと HDMI/DisplayPort/Thunderbolt デバイスのボリューム設定を調整します。</li><li>コンピュータのサウンドカードドライバが適切にインストールされ、有効になっていることを確認します。</li></ul>

### 3.5 サポートするオペレーティングモード

解像度周波数	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル (MHz)
640 x 350	31.47(P)	70(N)	25.18
640 x 480	31.47(N)	59.94(N)	25.18
640 x 480	37.87(N)	72.82(N)	31.5
640 x 480	37.5(N)	75.00(N)	31.5
720 x 400	31.47(N)	70.08(P)	28.32
800 x 600	35.16(P)	56.25(P)	36
800 x 600	37.88(P)	60.32(P)	40
800 x 600	48.08(P)	72.12(P)	50
800 x 600	46.86(P)	75.00(P)	49.5
848 x 480	31.0(P)	60(P)	33.75
1024 x 768	48.36(N)	60.00(N)	65
1024 x 768	56.476(N)	70.069(N)	75
1024 x 768	60.02(N)	75.00(N)	78.75
1152 x 864	67.5(P/N)	75.00(P/N)	108
1280 x 720	44.77(N)	60	74.5
1280 x 768	47.8(N)	60(N)	79.5
1280 x 768	60.3(P)	75(P)	102.25
1280 x 800	49.7(N)	60(P)	84.5
1280 x 960	60.00(P)	60.00(N)	108
1280 x 1024	63.98(P)	60.02(P)	108
1280 x 1024	79.98(P)	75.02(P)	135
1366 x 768	47.712(P)	59.79(P)	85.5
1400 x 1050	65.3(N)	60(P)	121.75
1440 x 900	55.94(N)	59.89(P)	106.5
1600 x 1200	75.00(P)	60.00(P)	162
1680 x 1050	65.29(N)	60.00(P)	146.25
1920 x 1080	67.5(P)	60.00(P)	148.5
1920 x 1200 (プランキングの低減)	74.038(P)	59.95(N)	154
1920 x 1200	74.556(N)	59.885(P)	193.25
1920 x 2160	133.293	59.988	277.25
2560 x 1080	66.636(P)	59.978(N)	181.25
2560 x 1440	88.787(P)	59.951(N)	241.5
3840 x 2160	52.593(N)	24(P)	266.75
3840 x 2160	54.786(N)	25	278.75
3840 x 2160	67.5(P)	30(P)	297
3840 x 2160	111.174(N)	50(P)	587
3840 x 2160 (プランキングの低減)	133.313(P)	60(N)	533.25
3840 x 2160	135.0(P)	60.0(N)	594

「P」/「N」は、入力 H-sync/V-sync (入力タイミング) の「プラス」と「マイナス」の極性を示しています。HDMI コネクタを使ってモニターがビデオモードで動作している場合は (データを表示しない)、標準精度ビデオに加え、次の高精度モードもサポートされます。

解像度	垂直周波数 (kHz)	水平周波数 (KHz)
1920 x 1080p	24Hz	27
	50Hz	56.25
	59.94Hz	67.43
	60Hz	67.5
1920 x 1080i	50Hz	28.13
	59.94Hz	33.72
	60Hz	33.75
1440 x 480P	59.94Hz	31.47
	60Hz	31.5
1440 x 576P	50Hz	31.25
	50Hz	37.5
1280 x 720p	59.94Hz	44.95
	60Hz	45
	50Hz	31.25
720 x 576p	59.94Hz	31.47
	60Hz	31.5
720 x 480p	59.94Hz	31.47
	60Hz	31.5
640 x 480p(VGA)	59.94Hz	31.47
	60Hz	31.5
720(1440) x 576i	50Hz	15.63
	59.94Hz	15.73
720(1440) x 480i	59.94Hz	15.73
	60Hz	15.75

\* 表に記載されていないモードはサポートされません。最適の解像度を表示するには、上の表に記載されているモードから選択されることをお勧めします。



A series of horizontal lines for writing, consisting of 25 evenly spaced lines across the page.

